

第 50 回 LCH 研究会  
第 29 回 EB ウイルス感染症研究会  
プログラム

2021 年 3 月 20 日 9:30～15:00

Web-Live 配信

配信に関するお問い合わせは下記にお願いします

九州大学小児科 医局

092-642-5421

info アットマーク ebv-jar.jp

(アットマークを変換して送信してください)

## Web-Live 配信 参加者へお知らせ

研究会は Microsoft Teams を用い完全 Web 形式で Live 配信で行います。

### 参加方法

研究会事務局より Teams のリンクを事前にお知らせいたします。事前連絡がなかった場合や追加での参加希望の方は前日の 3 月 19 日までに EBV 感染症研究会事務局 [info@ebv-jar.jp](mailto:info@ebv-jar.jp) までご連絡ください。LCH 研究会、Emapalmab 特別講演、EBV 感染症研究会とも同一リンクです。

※LCH 研究会・EBV 感染症研究会世話人会は別リンクですので、再度ログインをお願いします。

セキュリティの問題により、リンク情報の転送、SNS などでの公開はご遠慮ください。

また、配信の録音・録画も禁止とさせていただきます。

### 参加費用

今年度は配信のみのため無料です。

### Live 配信中のお願い 質問方法

配信回線の負荷を考慮し、視聴中はマイク・カメラとも Off をお願いします。

質問・コメントがある場合は、所属と氏名をチャットに記載いただくか、挙手ボタンを押してください。

座長に指名された場合はマイク・カメラを On にしていただき、ご発言ください。

発言終了後は挙手を取り下げ、マイク・カメラ Off をお願いします。

### 発表の先生へのお願い

LCH 研究会一般演題は 15 分、EBV 感染症研究会一般演題は 10 分（発表 8 分、質疑 2 分）です。

Microsoft Powerpoint でのスライド作成をお願いします。

ご自身の発表順になりましたら、マイク・カメラ on にしてください。その後、スライドの画面共有をお願いします。発表が終了しましたら、画面共有終了をお願いします。

### 座長の先生へのお願い

カメラは常時 on をお願いします。演者発表中はマイク off をお願いします。チャット・あるいは挙手で質問希望がありましたら、ご指名をお願いします。事務局でのタイムキープの通知は行いませんが、円滑な会の進行にご協力をお願いします。

## 第 50 回 LCH 研究会プログラム

日時：2020年3月20日（日）9:30～11:20

### ◆ セクション1 「事務局報告」

座長：塩田曜子（成育医療研究センター） 9:30～ 9:50

JLSG-96/02 登録例の長期フォローアップ経過（成育医療研究センター 坂本謙一）

### ◆ セクション2 「一般演題」

座長：土居岳彦（広島大学）、工藤 耕（弘前大学）9:50～11:20

1. 寛解後に再発を認めた肺ランゲルハンス細胞組織球症の症例  
深尾 大輔（日本赤十字社和歌山医療センター 小児科）ほか
2. 多臓器型 LCH 治療終了後に左内斜視を発症した 1 男児例  
坂井勇太（金沢大学附属病院 小児科）ほか
3. 小児期発症の成人 LCH 症例における再発リスク  
：15 年以上のインターバルでの再発例の臨床経過  
塩田曜子（国立成育医療研究センター 小児がんセンター）ほか
4. 硬化性胆管炎を合併し生体肝移植を行った LCH の一例  
渡壁麻依（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科）ほか
5. 髄膜に巨大な腫瘍形成（CNS-JXG）を来した LCH 症例からのレッスン  
迫 正廣（厚生会第一病院・マリア保育園）ほか
6. BRAF 阻害剤を併用して臍帯血移植を行い、生着不全となったが再移植で生着した治療抵抗性 LCH  
板倉陽介（静岡県立こども病院 血液腫瘍科）ほか

休憩 11:20～11:30

特別講演 11:30-12:30

**Emapalmab (anti-IFN $\gamma$ Ab) session (Sobi Japan 社共催)**

**Chairperson: Shouichi Ohga (Department of Pediatrics, Kyushu University)**

11:30-11:55 **primary HLH**

Carl Johan Treutiger (Medical director, Clinical development, Clinical science, SOBI Sweden)

11:55-12:10 **MAS secondary to sJIA**

Radmila Kanceva (Senior medical director, Clinical Science, SOBI Geneva)

12:10-12:30 **Discussion & Q&A**

12:30-13:00 休憩

## 第 29 回 EB ウイルス感染症研究会 プログラム

日時：2020年3月20日（日）13:00～15:00

（敬称略）

13:00-13:05 開会の挨拶：大賀正一（九州大学小児科）

13:05-13:45 一般演題 1: 基礎・病態 座長：今留 謙一（成育医療研究センター高度先進医療研究室）

1. EBER-FISH-flow による EB ウイルス感染細胞の高感度検出  
谷田けい（東京医科歯科大学発生発達病態学分野）
2. 上咽頭がん由来 EBV に多く認める BART プロモーター領域遺伝子の単一ヌクレオチド多型  
吉山裕規（島根大学微生物学）
3. 臨床検体より見出された EBV の C promoter の欠損は EBV による B 細胞の形質転換の効率を上昇させる  
馬淵青陽（名古屋大学ウイルス学）
4. 血球貪食性リンパ組織球症を発症した X 連鎖リンパ増殖症候群患児のシングルセルシーケンスを用いたトランスクリプトーム解析  
鈴木高子（名古屋大学小児科）

13:50-14:00 CAEBV に対するルキソリチニブの医師主導治験について

新井文子（聖マリアンナ医科大血液内科）

14:05-14:55 一般演題 2：症例 座長 和田 泰三（金沢大学小児科）

5. 化学療法のみで一過性にウイルス学的寛解を得られた CAEBV の 1 症例  
赤澤嶺（京都大学小児科）
  6. 無治療自然寛解した EB ウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症の男児例  
松田裕介（金沢大学小児科）
  7. 頸部リンパ節腫大を契機に診断された X 連鎖リンパ増殖性症候群(XLP1)の 1 例  
奥野啓介（鳥取大学小児科）
- 指定演題（発表 8 分+Discussion 12 分）
8. CAEBV 診断基準の改定について  
川田潤一（名古屋大学小児科）

14:55-15:00 閉会の挨拶：大賀正一（九州大学小児科）

15:05-15:30 EBV 感染症研究会世話人会（事前にお伝えした別リンクから入室して下さい）